
令和3年度教育課程研究集会

中学校 国語

1 説 明

国語科におけるICTを活用した指導について

2 実践発表

「国語科におけるICTの活用」

生駒市立光明中学校 篠原 嶺 先生

1 学習指導要領上の位置付け

学習指導要領（平成29年告示）では、小学校、中学校、高等学校を通じて、国語科におけるICT活用について以下のように規定しています。なお、ICT活用はあくまで手段であり、活用に当たっては、育成を目指す資質・能力との関連を明確にすることが重要です。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮すること

(2) 第2の内容の指導に当たっては、生徒がコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。

中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 第1節国語



情報化社会の進展を見据え、国語科の学習においても、情報収集や情報発信の手段として、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクターによる提示など、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する機会を設けることが重要である。

2 国語科の指導においてICTを活用する際のポイント

国語科における「学習過程」とICTの活用場面

学習指導要領（平成29年公示）では、国語科の指導の改善・充実を図る観点から、〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。ICTの効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができる。

2 国語科の指導においてICTを活用する際のポイント

国語科の学習過程

※必ずしも一方向、順序性のある流れではありません。

考えられるICT活用場面

※以下の各場面は、あくまでも便宜的に挙げたものであり、特定の学習過程と紐付くものではありません。

A 話すこと・聞くこと

〈話すこと〉 〈聞くこと〉 〈話し合うこと〉

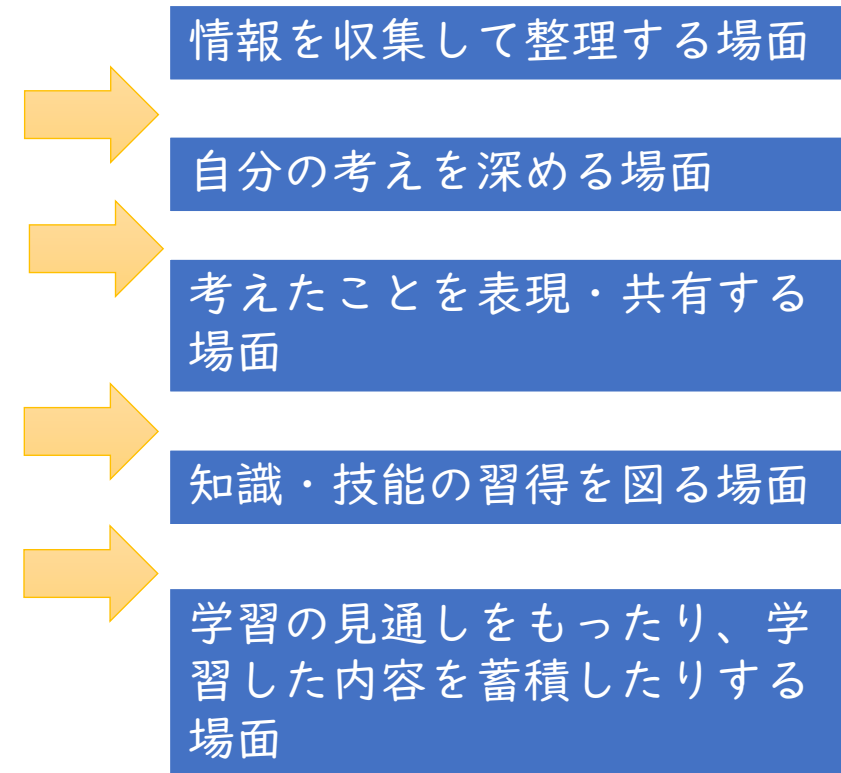
話題の設定	話題の設定	話題の設定
情報の収集	情報の収集	情報の収集
内容の検討	構造と内容の把握	内容の検討
構成の検討		話し合いの進め方の検討
考えの形成	精査・解釈	考えの形成
表現	考えの形成	考えの形成
共有	共有	共有

B 書くこと

題材の設定
情報の収集
内容の検討
構成の検討
考えの形成
記述
推敲
共有

C 読むこと

構造と内容の把握
精査・解釈
考えの形成
共有



3 場面に応じた国語科におけるICT活用のイメージ（例）

情報を収集して整理する場面

- インターネットを活用して学習課題に関連する情報を調べ、集めた情報を内容に応じて整理する。
- 収集した情報を各自のフォルダに保存し、表計算ソフトなどを活用してデータベース化する。

自分の考えを深める場面

- 自分で考えたことを画面上の付箋に書き出し、その付箋を目的や意図に応じて分類する。
- プレゼンテーションソフト上でスライドを並べ替えるなどして、自分の伝えたいことがより明確に伝わるよう、目的や意図、相手に応じて用いる情報を取捨選択したり、話や文章の構成を考えたりする。
- デジタル教科書上で自分が重要だと考えた箇所に線を引き、友達と比較するなどして、考え直した場合に線を引き直す。

考えたことを表現・共有する場面

- カメラ付のICT端末を使って録画・保存したスピーチや話合いの動画を、各自で再生しながら話し方等を確認し、良い点や改善点についてコメントをフォルダ内の共有ファイルに書き込む。
- プレゼンテーションソフトを活用して、各自のテーマに即した発表資料をそれぞれ作成する。

3 場面に応じた国語科におけるICT活用のイメージ（例）

知識・技能の習得を図る場面

- 古文や漢文等の教材となる動画を各自の目的に応じて選択・視聴し、言葉の響きやリズムに親しむ。
- 書写の指導において、デジタル教科書等を活用して、点画の書き方への理解を深める。

学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面

- 各自の目的に応じてモデルとなるスピーチの動画を視聴し、学習の見通しをもつ。
- 以降の学習における様々な学習活動において自分の必要に応じて適宜参照できるように、学習した内容を個人のフォルダに蓄積する。